



家島の貝調査

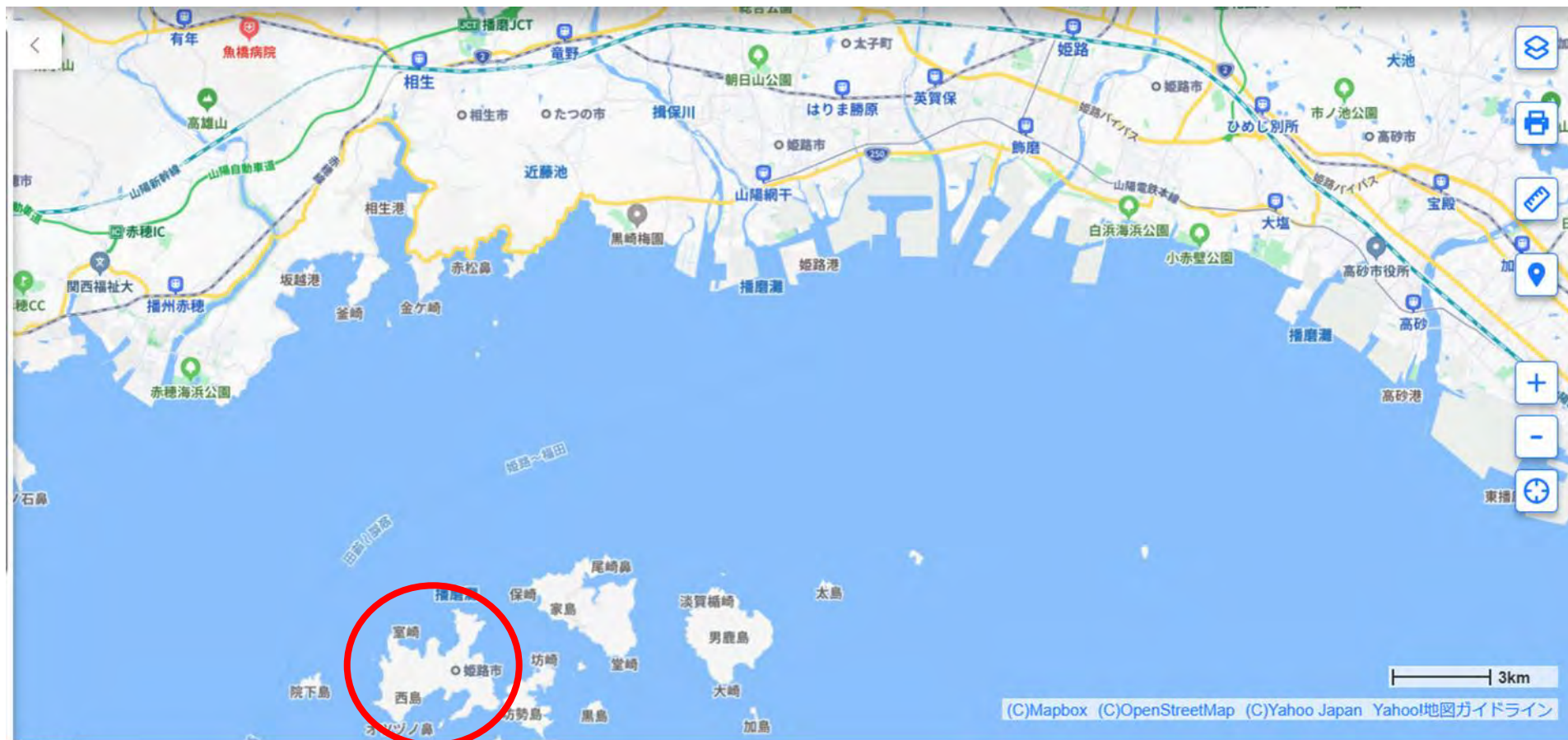
滝川第二中学校2年2・3組

荒井美玖 岩井大輝 岩佐虎明 上田夕渚 越智柚葉 北野夢 小寺澤沙織 米田花菜 柴田さくら 谷有都 塚北康太郎 椿幸樹 藤後結衣 中嶋優理 丹羽たまき 原田大暉 春名雛実
福崎叶果 村尾花穂 森岡奈々 矢野求真 山内結生 山本芽依 八本光莉 渡辺遥麻 朝田大智 石井咲良 井上紗良 猪股実礼 岡那々子 岡田実咲希 小川颯土 陰山葉月 蒲優月
佐藤杏凜 志野木克己 辻生美侑 寺島史佳 唐仁原愛菜 鳥居泉麗 西内悠希 濱ノ園紗希 藤林枇愛 藤原萌杏 細見悠真 正木誠也 山田絢菜 鷺尾陸 渡辺こころ

動機 サイエンスキャンプの宿舎前の砂浜にたくさんの貝殻が打ち上げられていた。何種類くらいあるのかと思った。

調査した日 2023年8月3日

場所 いえしま自然体験センター前



方法 貝殻が多い部分の砂をすくって、バットに入れ、宿舎に持ち帰る。砂の中から貝殻をより分ける。ある程度、似たものを集めて袋に入れ持ち帰った。



貝殻がうちあげられた波打ち際

貝殻の採取

貝殻をより分ける

西宮市貝類館の高田良二さんに種名を教えてくださいました。



種類別に分けたところ



数を数えているところ

2枚貝はばらばらになっているのでそれぞれを1個と計測した。部分だけのものも1個とした。貝の個体数を測定するのではなく、貝殻の数を計測するためだから。貝は**69種類**、**3070個**の貝殻があった。

結果

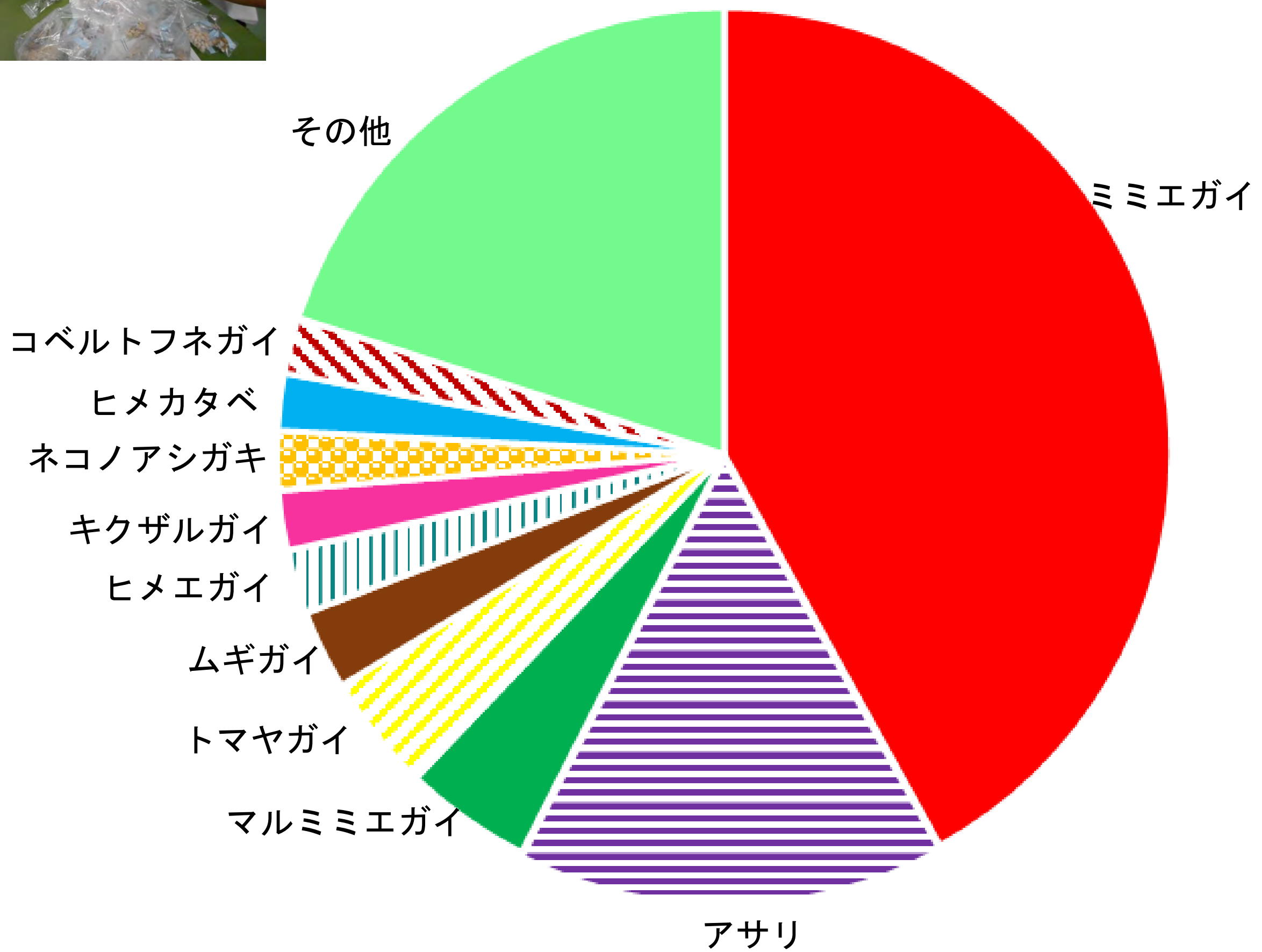
数の多いものから順に並べた

上位10種類

	貝の種類	数	割合 (%)
1	ミミエガイ	1299	42.3
2	アサリ	479	15.6
3	マルミミエガイ	143	4.7
4	トマヤガイ	131	4.3
5	ムギガイ	89	2.9
6	ヒメエガイ	72	2.3
7	キクザルガイ	67	2.2
8	ネコノアシガキ	66	2.1
9	ヒメカタベ	64	2.1
10	コベルトフネガイ	63	2.1
11	イタボガキ	46	1.5
12	マガキ	46	1.5
13	クチベニガイ	39	1.3
14	カゴメガイ	32	1.0
15	オガイ	29	0.9
16	ザクロガイ	28	0.9
17	ウミニナ	26	0.8
18	クチバガイ	23	0.7
19	ナミワガシワ	21	0.7
20	ネズミノテガイ	18	0.6
21	ミミズガイ	17	0.6
22	ホソウミニナ	16	0.5
23	キリオレガイ	15	0.5
24	キヌボラ	14	0.5
25	スダレモシオガイ	14	0.5
26	シマワスレガイ	13	0.4
27	アワジチヒロ	12	0.4
28	フロガイダマシ	12	0.4
29	オウウヨウラク	10	0.3
30	コシダカエビス	10	0.3
31	フミガイ	10	0.3
32	オニアサリ	9	0.3
33	カニモリガイ	9	0.3
34	ケガキ	9	0.3
35	シラスナガイ	9	0.3
36	ヒメナガツノガイ	9	0.3
37	イボキサゴ	8	0.3
38	ゴマツボ	8	0.3
39	アオカリガネエガイ	7	0.2
40	アワフネガイ	7	0.2
41	ツメタガイ	7	0.2
42	チリボタン	6	0.2
43	ヒメキリガイダマシ	6	0.2
44	レイシガイ	6	0.2
45	スダレガイ	5	0.2
46	ヒナノヒオウギ	4	0.1
47	イシダタミ	3	0.1
48	スガイ	3	0.1
49	タマキビガイ	3	0.1
50	ムシボタル	3	0.1
51	クズヤガイ	2	0.1
52	チグサガイ	2	0.1
53	ヒバリガイ	2	0.1
54	ホウシュノタマ	2	0.1
55	マルスダレガイ	2	0.1
56	アカニシ	1	0.0
57	イソチドリ	1	0.0
58	ウミアサガイ	1	0.0
59	コシダカガンガラ	1	0.0
60	コベルトカニモリ	1	0.0
61	シオガマガイ	1	0.0
62	コシロガイ	1	0.0
63	シボリガイ	1	0.0
64	シマメノウフネガイ	1	0.0
65	ネジガイ	1	0.0
66	ハナガイ	1	0.0
67	ホクロガイ	1	0.0
68	ヤマトシジミ	1	0.0
69	ワシノハガイ	1	0.0
	合計	3069	



貝の種類と割合



ミミエガイ



アサリ



マルミミエガイ



トマヤガイ



ムギガイ



ヒメエガイ



キクザルガイ



ネコノアシガキ



ヒメカタベ



コベルトフネガイ

上位10種で全体の80%を占めた。1%以下の貝が大半だった。多種類の貝が生息できる多様な環境である。特に希少な種類はなかった。南方系の貝もなかった。種数も種類も瀬戸内海では普通に見られる貝だった。USB接続のマイクروسコープで貝の写真を撮った。ファイルケースを利用して標本も作った。

貝の図鑑



イタボガキ



マガキ



クチベニガイ



カゴメガイ



オガイ



ザクロガイ



ウミニナ



クチバガイ



ナミマガシワ



ネズミノテガイ



ミミズガイ



ホソウミニナ



キリオレガイ



キヌボラ



スダレモシオガイ



シマワスレガイ



アワジチヒロ



フロガイダマシ



オウヨウラク



コシダカエビス



フミガイ



オニアサリ



カニモリガイ



ケガキ



シラスナガイ



ヒゲナガツノガイ



イボキサゴ



ゴマツボ



アオカリガネエガイ



アワブネエガイ



ツメタガイ



チリボタン



ヒメキリガイダマシ



レイシガイ



スダレガイ



ヒナノオウギ



イシダタミ



スガイ



タマキビガイ



ムシボタル



クズヤガイ



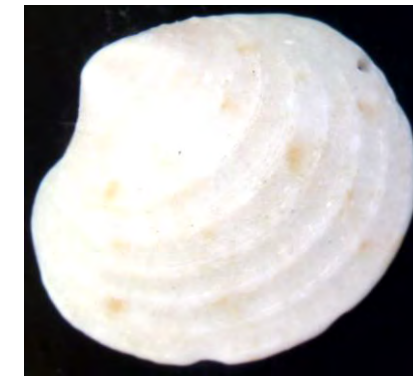
チグサガイ



ヒバリガイ



ホウシュノタマ



マルスダレガイ



アカニシ



イソチドリ



ウミアサガイ



コシダカガンガラ



コベルトカニモリ



シオガマガイ



コシロガイ



シボリガイ



シマメノウフネガイ



ネジガイ



ハナガイ



ホクロガイ

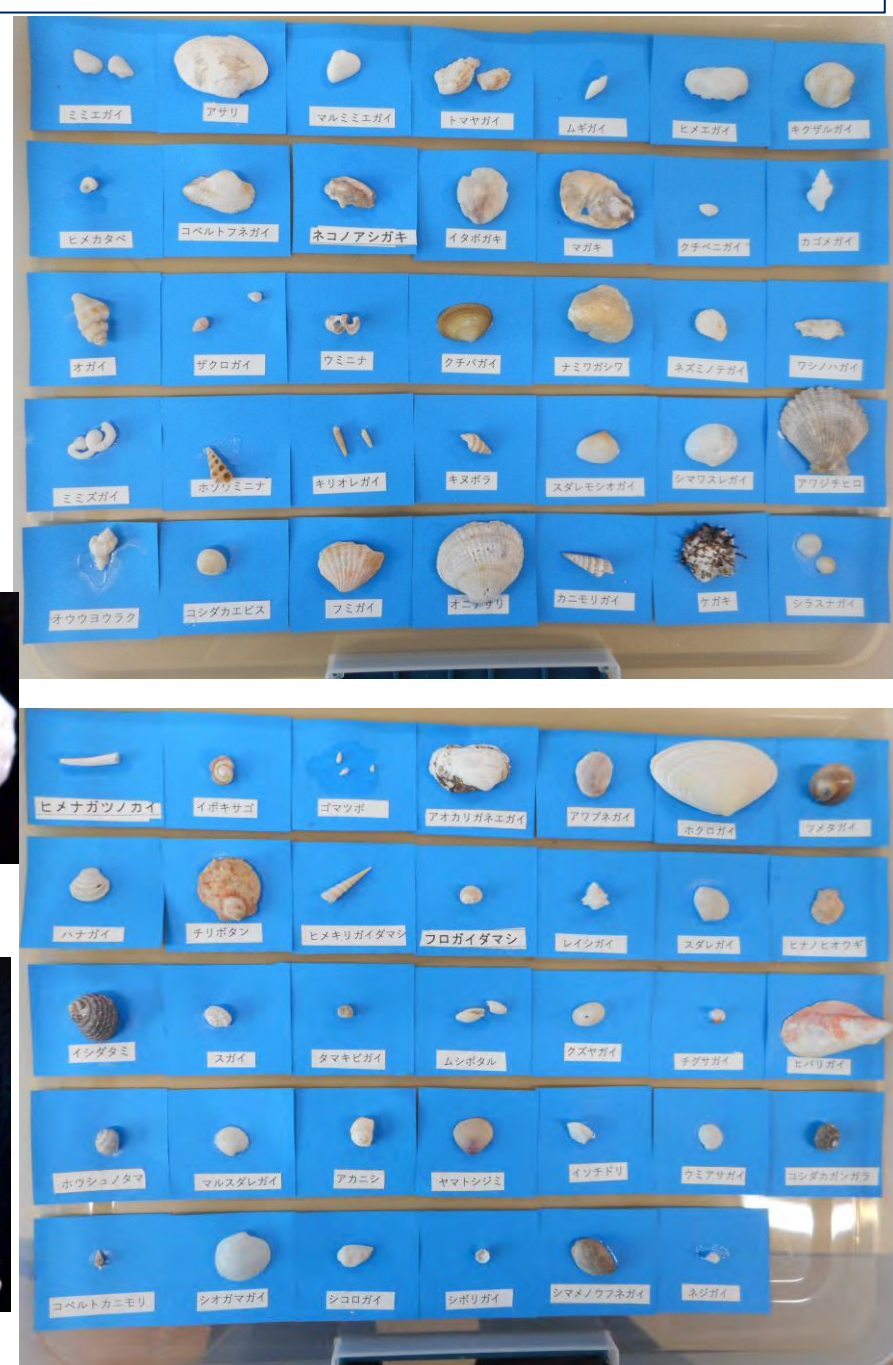


ヤマトシジミ



ワシノハガイ

標本を作製した



謝辞

貝殻の同定をしていただき、また「貝類の分類と進化」について講演もしていただいた、西宮市貝類館の高田良二先生のお名前を記して謝辞とさせていただきます。ありがとうございます。

